Veritas System Recovery 18
インストール

VERITAS

The truth in information.

免責事項

- ベリタステクノロジーズ合同会社は、この文書の著作権を留保します。また、記載された内容の無謬性を保証しません。
- VERITAS の製品は将来に渡って仕様を変更する可能性を常に含み、これらは予告なく行われることもあります。
- なお、当ドキュメントの内容は参考資料として、読者の責任において管理/配布されるようお願いいたします。二次利用される場合、弊社はその成果物に対して責任を負いません。

Copyright © 2019 Veritas Technologies
VERITAS

目次

1	システム要件
2	VSR インストール
3	VSR アップグレード
4	VSR 設定

Copyright © 2019 Veritas Technologies

目次

1 システム要件

2 Installing Veritas System Recovery

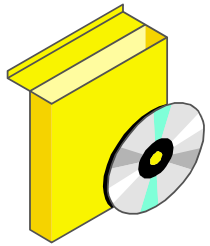
3 Upgrading to Veritas System Recovery

4 Configuring Veritas System Recovery

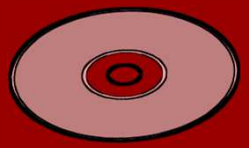
Copyright © 2019 Veritas Technologies

VSR 18 のインストールメディアの種類

お客様は、メディアをダウンロードして、インストールしたり、アップグレードできます。メディアは大きく分けて3種類あります。

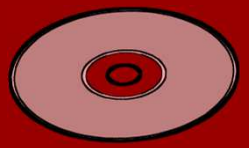


Veritas System Recovery 18 media



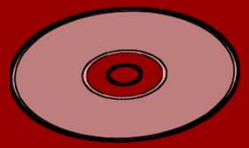
DVD 1

- VSR 18 Server
- VSR 18 Desktop
- VSR 18 Virtual Editions



DVD 2

- VSR 18 Linux Edition



DVD 3

- VSR 18 Basic Edition

日本市場のみに提供

Copyright © 2019 Veritas Technologies

VSRのシステム要件

VSR Windows 32-bitまたは64-bit OSの両方をサポートします。

Windows 7
Windows 8
Windows 8.1
Windows 10

Windows Server 2008
Windows Server 2008 R2
Windows Server 2012
Windows Server 2012 R2
Windows Server 2016
Windows Server 2019

詳しくは、*SCL*（*Software Compatibility List*)を参照してください。
https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_18_SCL

注）VSRにはHCL(Hardware Compatibility List)がないため、導入可能なハードウェアの要件は、OSのサポート要件に準じます。

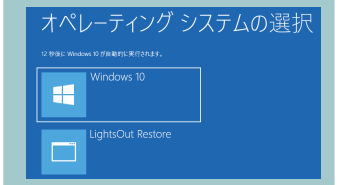
Copyright © 2019 Veritas Technologies
VERITAS

Veritas System Recovery: メモリ要件

	Veritas System Recovery Agent （GUIを除いたVSRのコア部分）	**512 MB**
	Veritas System RecoveryユーザインタフェースとRecovery Point Browser* *Recovery Point Browserはリカバリポイントのファイル/フォルダを表示して、リストアしたり、リカバリポイントにドライブレターつけてマウントするための機能	512 MB
	Veritas System Recovery Disk　（SRD）	1.5 GB
	LightsOut Restore（LOR）* ＊SRDがなくても、SRDのブートイメージをハードディスクに組み込んで、ハードディスクからもブートできる機能	1.5 GB

Copyright © 2019 Veritas Technologies

Veritas System Recovery: ストレージ要件

	全てのコンポーネント	言語設定にもよるが約2GB ※ADKもインストールする場合、そのサイズ分も考慮する必要があります。
	リカバリポイント	バックアップ対象のサイズに依存します。 例: 100GBのボリュームで20GBしか使用していない場合、 20GB程度またはそれ以下のサイズのリカバリポイントが作成されます。
	Veritas System Recovery LightsOut Restore	2 GB

Copyright © 2019 Veritas Technologies

Veritas System Recovery: サポート可能なファイルシステムとメディア

サポート可能なファイルシステム

VSRでは下記のファイルシステムをサポートします。

- FAT16, FAT16X
- FAT32, FAT32X
- Resilient File System (ReFS)
  (注: VSRはReFSボリュームの完全および増分バックアップをサポートします)
- NTFS

リムーバブルメディア

VSRではリカバリポイントを主なUSBデバイス、1394 FireWireデバイス、RDX、REV、Jaz、Zipドライブ、光磁気ディスク等に保存することができます。

サポート可能なディスクタイプおよびディスクパーティション

VSRでは下記のディスクタイプおよびディスクパーティションをサポートします。

- ダイナミックディスク
- GUIDパーティションテーブル (GPT)
- マスターブートレコード (MBR)
- Linuxスワップパーティション
- 4Kセクタ（ネィティブ）ディスクボリューム:

  VSRは4kn（4Kネィティブ）ディスクをサポートします。VHDXフォーマットは、4Knディスクに対応しているため、VSRもVHDXフォーマットを採用しています。VHDXフォーマットは、Windows 8/Windows Server 2012以降の対応となるため、4Knボリュームの仮想変換は、Windows 8/Windows 2012以降でサポートされます。

  ディスクのセクタサイズを調べるには、以下のコマンドを実行して、BytesPerSectorの値を確認します。

  - Windows 7/Windows Server 2008 R2の場合: fsutil fsinfo ntfsinfo <drive letter:>
  - Windows 8/Windows Server 2012以降の場合: fsutil fsinfo sectorinfo <drive letter>

Copyright © 2019 Veritas Technologies

3rd Party コンポーネント

VSRを利用するためには、以下のMicrosoft .Net Frameworkの導入が必要となります。

- Microsoft .NET Framework 4.5.2以降: VSRを利用するために必要となります
- Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable
- Microsoft Visual C++ 2010 x64/x86 Redistributable
- Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable
- VSRのインストーラは以下のプラットフォームで、.NET 4.5.2がインストールされていなければ、自動的にインストールします。
  - Windows 7 SP1 (x86とx64)以降
  - Windows Server 2008 R2 SP1 (x64)以降
  - Windows Server 2008 SP2 (x86とx64)以降

注:

- Windows 10/Windows Server 2016には、.NET 4.6が既にインストールされています。
- ExchangeのEメールをリストアするオプション（Granular Restore Option)を利用するには、Microsoft Outlook 2007, 2010, 2013の導入が前提です。

Copyright © 2019 Veritas Technologies

目次

1	System Requirements
2	VSR インストール
3	Upgrading to Veritas System Recovery
4	Configuring Veritas System Recovery

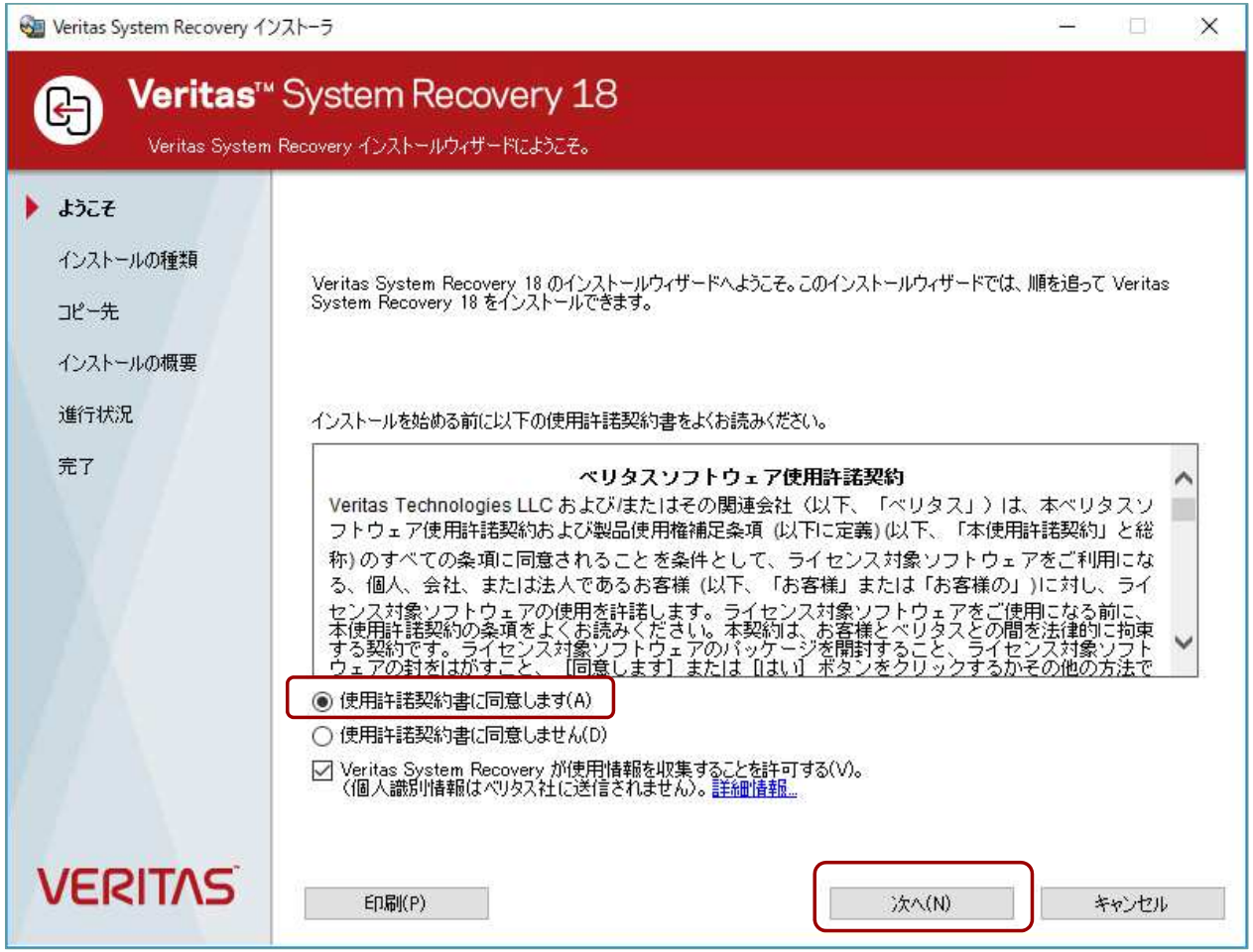
Copyright © 2019 Veritas Technologies

インストールの開始

注意）インターネット接続がない環境で、VSRをインストールしようとしたときに、Browser.exeを実行すると、エラーが発生する事象が報告されています。
回避策はSetup.exeを直接実行することです。詳しいことは、こちらをご覧ください。
https://www.veritas.com/support/en_US/article.100042084.html

Copyright © 2019 Veritas Technologies

ライセンスへの同意



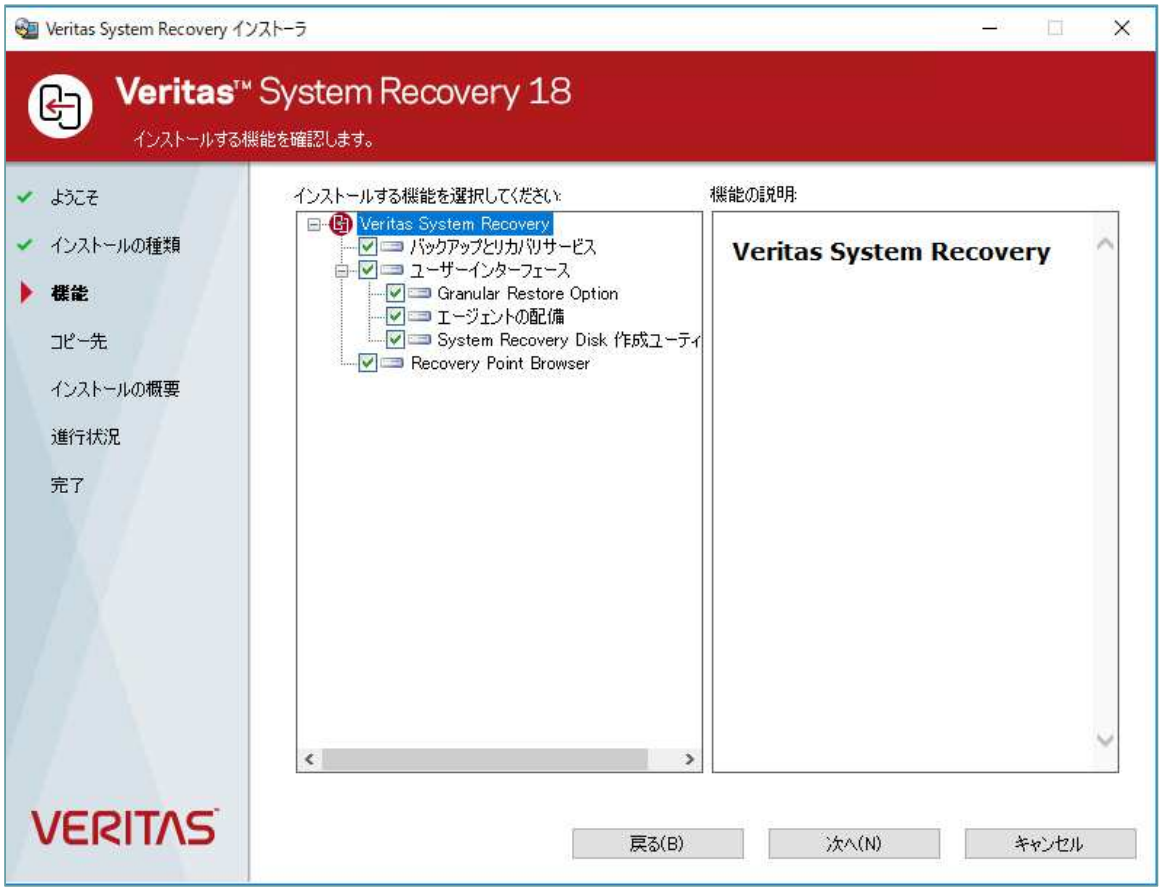
Copyright © 2019 Veritas Technologies

インストールの種類

カスタムインストールでは、個別コンポーネントを選択できますが、VSRの全機能を使用する場合は、標準インストールでインストールします。

Copyright © 2019 Veritas Technologies

カスタムインストール画面

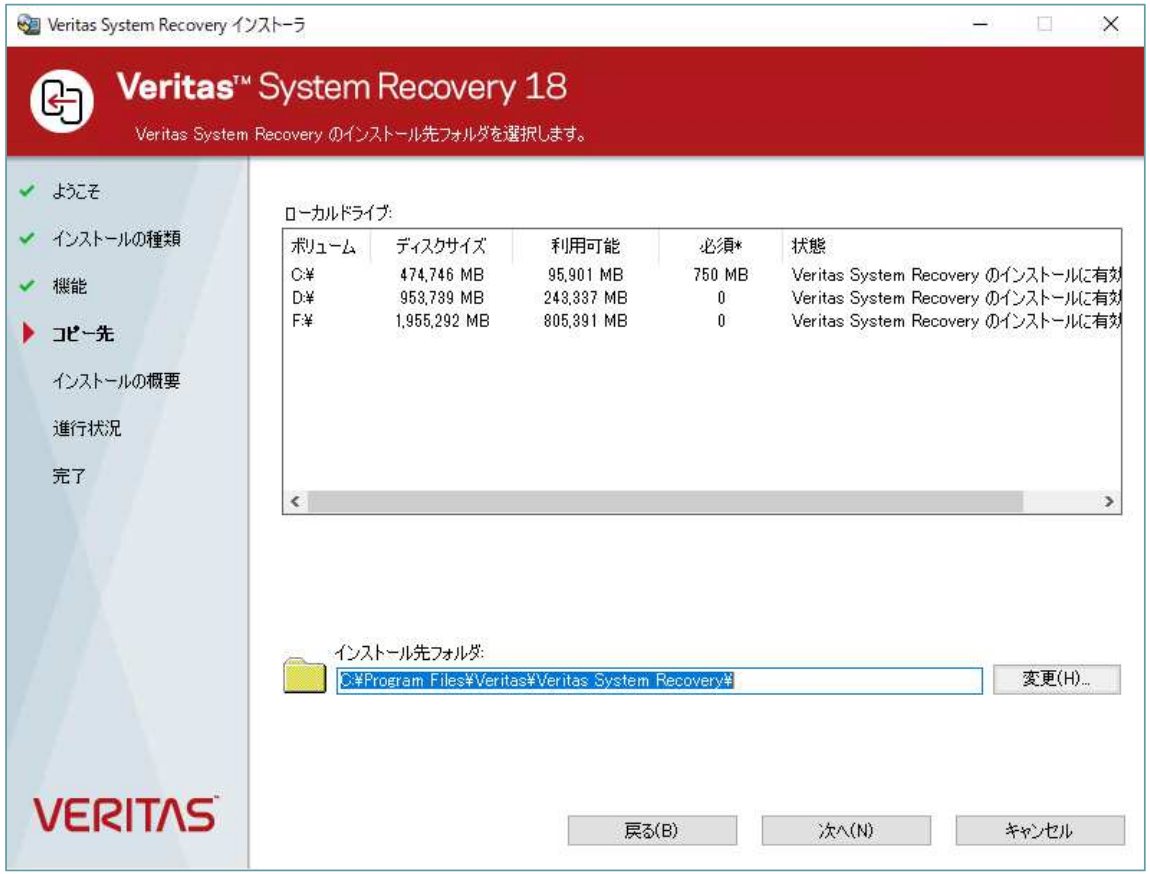


※SRDの作成のみを行う場合、System Recovery Disk作成ユティリティーをインストールする必要がありますので、その際は、標準インストールではなく、カスタムインストールを選択します。

Copyright © 2019 Veritas Technologies

インストール先フォルダ

インストール先を選択します。デフォルトはc:¥Program Files¥Veritas¥Veritas System Recoveryとなります。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

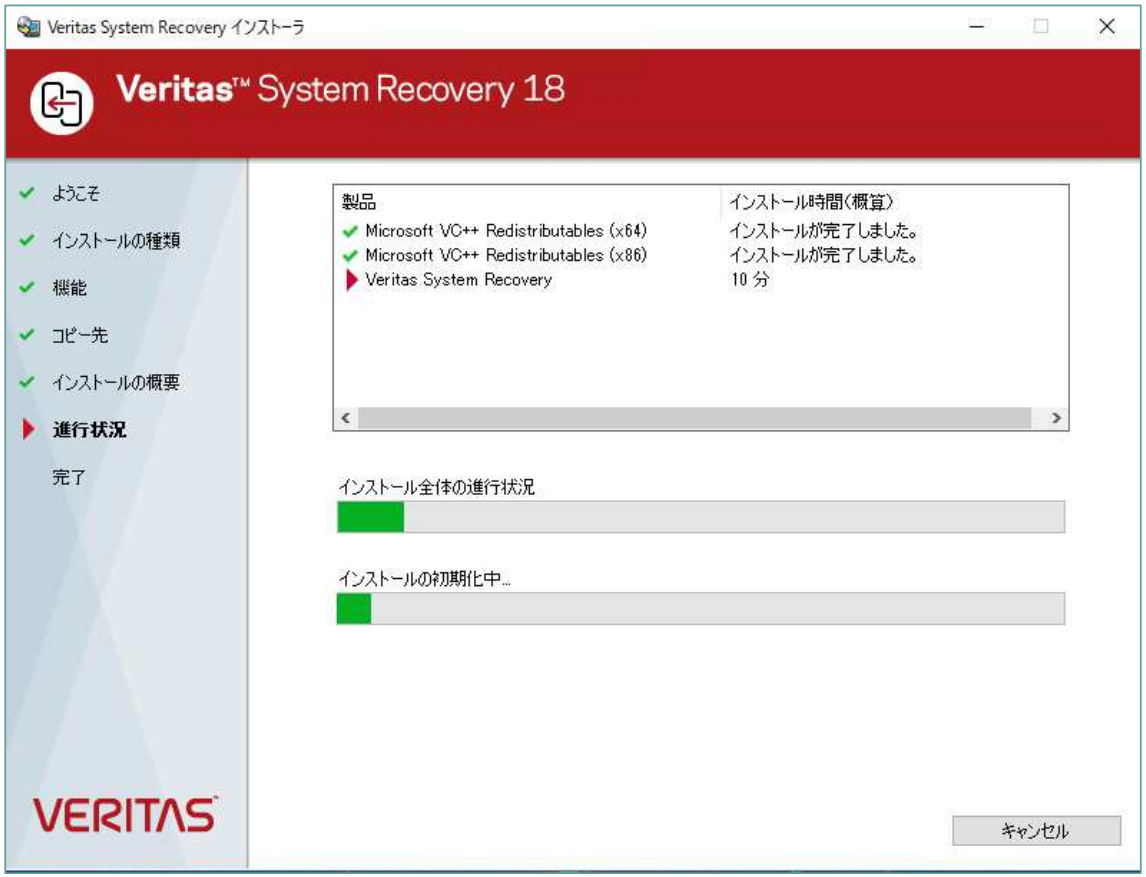
インストール設定の概要

確認したら「インストール」をクリックします。

Copyright © 2019 Veritas Technologies

VSR 本体のインストール

サードパーティコンポーネントのインストールが完了したら、VSR本体がインストールされます。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

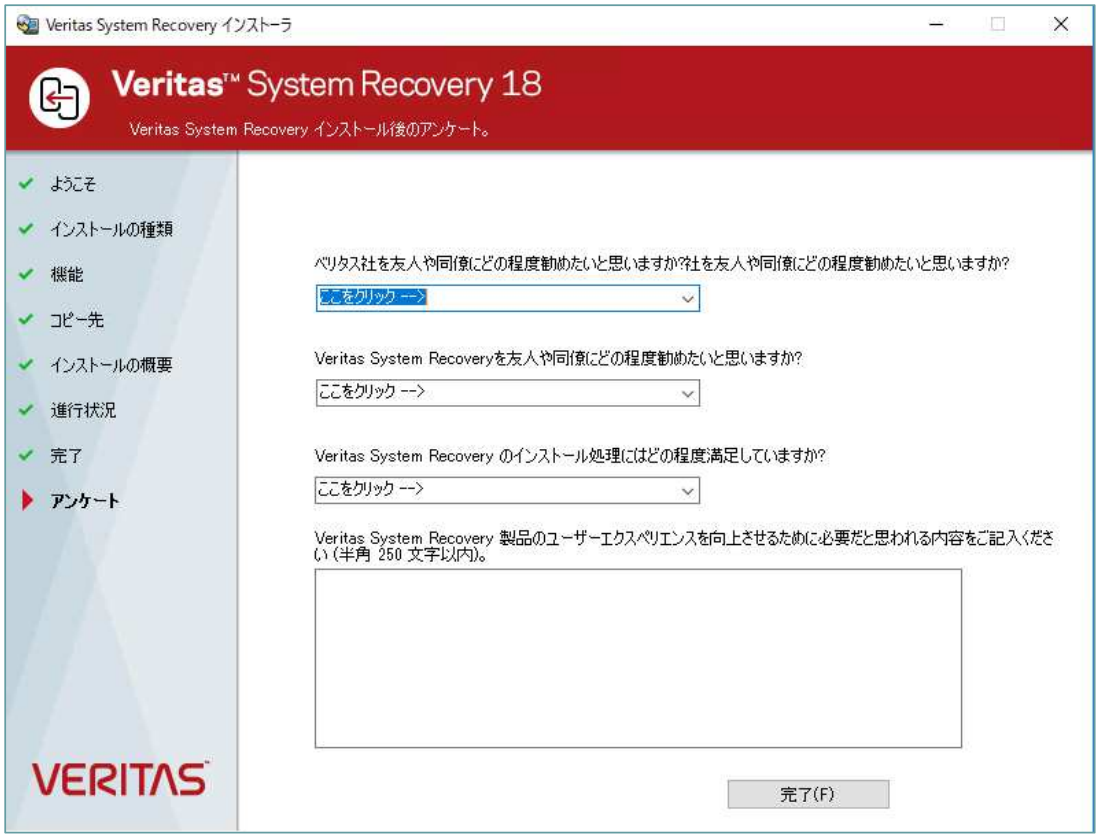
インストールの完了

インストールが完了したら、こちらの画面が表示されます。

Copyright © 2019 Veritas Technologies

アンケート

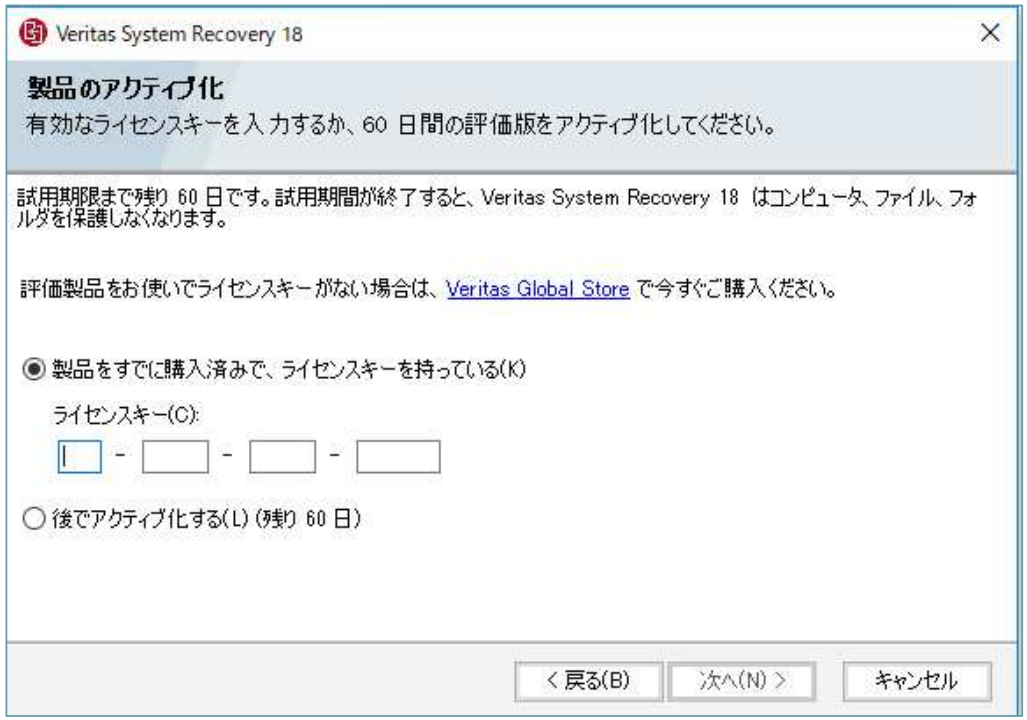
「アンケートに参加」にチェックが入っていると、インストール後のアンケート入力画面が表示されます。
（入力は必須ではありません）



Copyright © 2019 Veritas Technologies

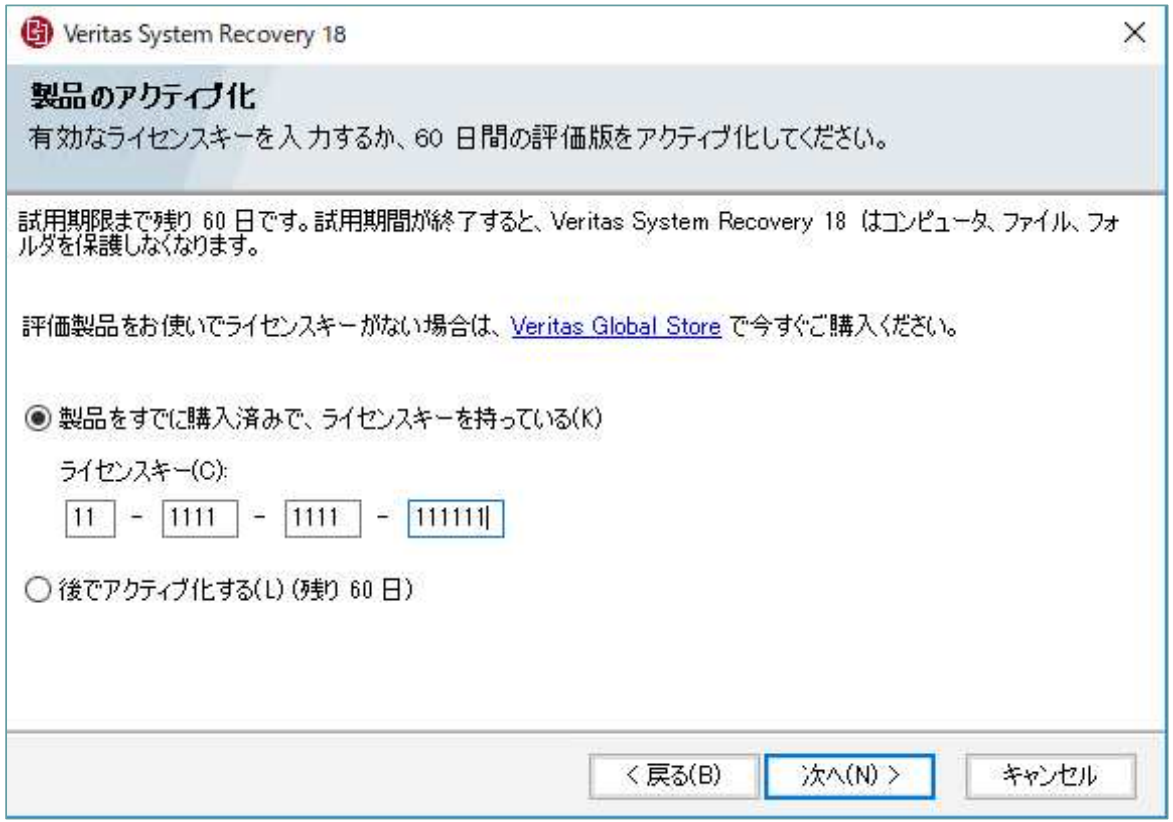
VSR起動時

VSRを起動すると、ランセンス入力を促す画面が表示されます。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

ライセンスキーの入力画面



- ライセンス入力しない場合、60日間の試用期間があります。ランセンス入力するまで、管理コンソールを開くと、この画面が表示されます。試用期間を過ぎると、バックアップジョブの編集とバックアップジョブの実行ができなくなります。

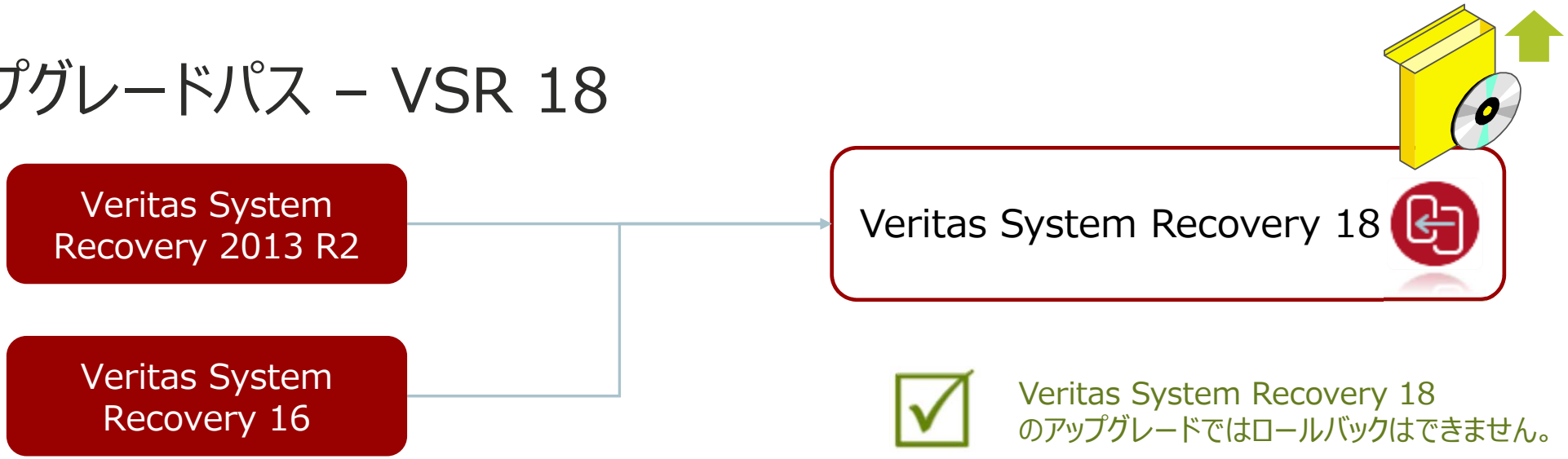
Copyright © 2019 Veritas Technologies

目次

1	System Requirements
2	Installing Veritas System Recovery
3	VSR アップグレード
4	Configuring Veritas System Recovery

Copyright © 2019 Veritas Technologies

アップグレードパス – VSR 18



※アップグレード、リストア（どのバージョンで取得したリカバリポイントをリストアしてもよいか）について、互換性・サポートされているバージョンについてSCLのEnd-of-Life Information に以下のように記載しています。

> EOL Notice: These operating systems, backward compatibility for restores, rolling upgrades, third-party software applications, and Veritas products are no longer supported for use with this version of Veritas System Recovery.
>
> System Recovery 2011, System Recovery 2013

2011, 2013がサポート外になり、サポートされるバージョンは、2013R2, 16となります。通常は、２バージョン前までがアップグレードおよびリストア対象となります。

Copyright © 2019 Veritas Technologies

目次

1	System Requirements
2	Installing Veritas System Recovery
3	Upgrading to Veritas System Recovery
4	VSR 設定

Copyright © 2019 Veritas Technologies

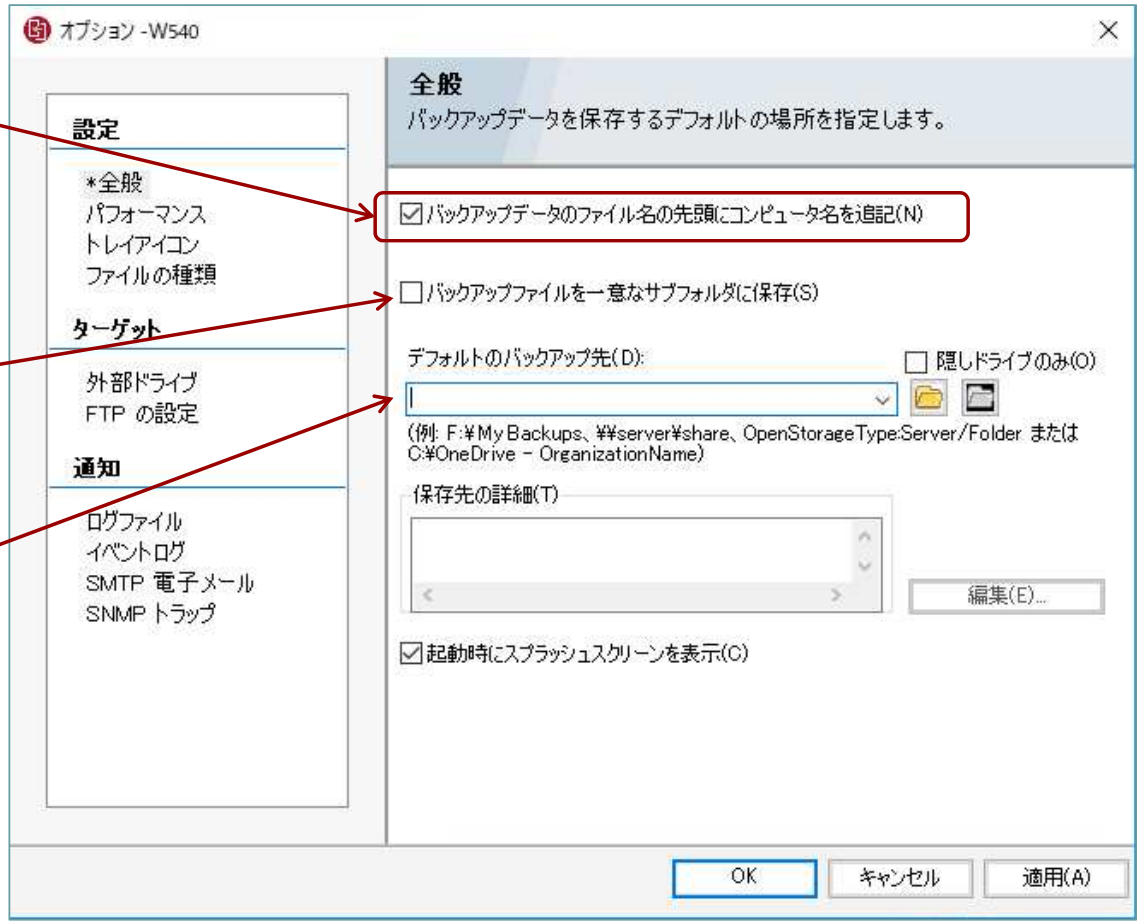
オプション

タスクのオプションには、ジョブの設定以外の設定を行うことができます。

Copyright © 2019 Veritas Technologies

オプションのダイアログボックス - 全般

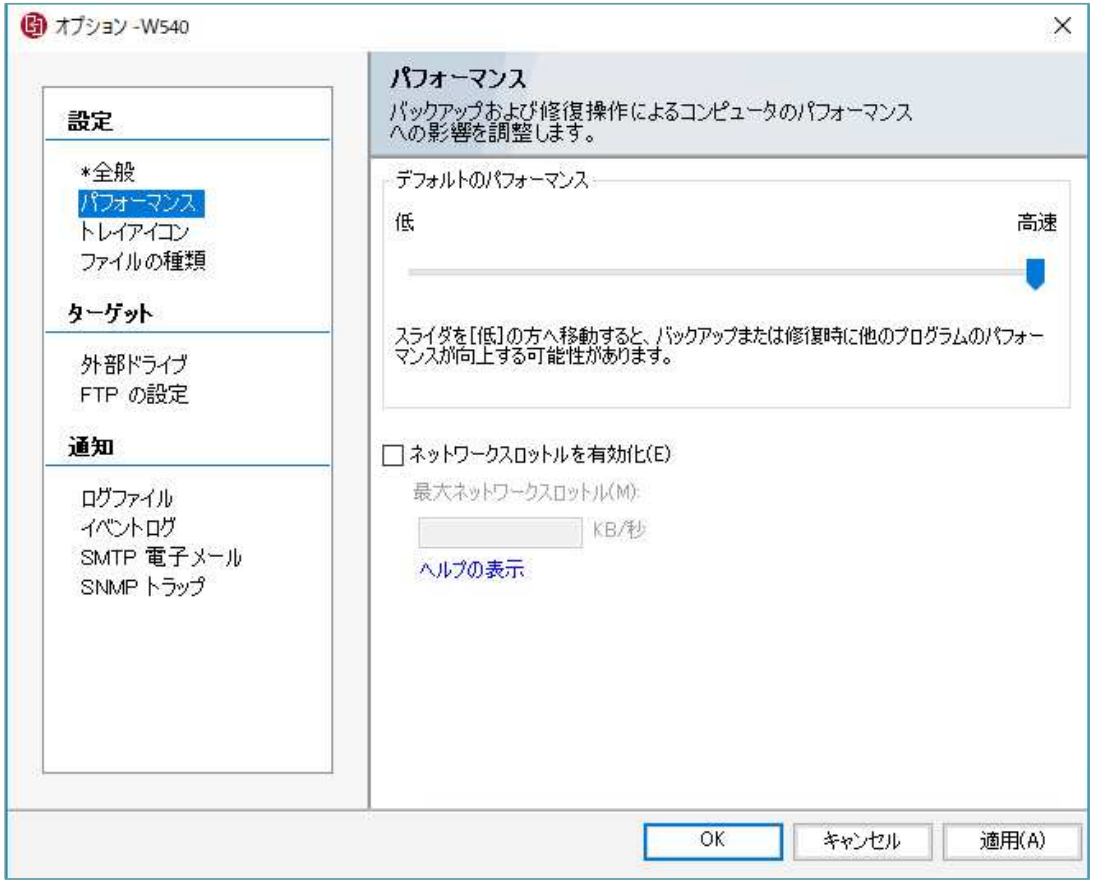
- NASなどにバックアップする場合、複数のコンピュータのバックアップがNASに格納されるため、ここにチェックが入っていると、どのコンピュータのリカバリポイントファイルであるかがわかりやすくなります。
- オンにすると、指定したバックアップ保存先に、コンピュータ名のフォルダを作成し、その中にリカバリポイントが保存されます。
- リカバリポイントの保存先のデフォルトを指定できます。バックアップジョブを作成したときに、この保存先が自動的に表示されます。ジョブごとに変更することも可能です。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

パフォーマンス

- バックアップ時のパフォーマンスを調整する機能です。通常は最大のパフォーマンスで動作するようになっていますが、他のアプリケーションを優先したい場合は、スライダーを下げます。
- また、「ネットワークスロットルの有効化」をチェックすると、バックアップに使用するネットワーク帯域幅を調整できます。

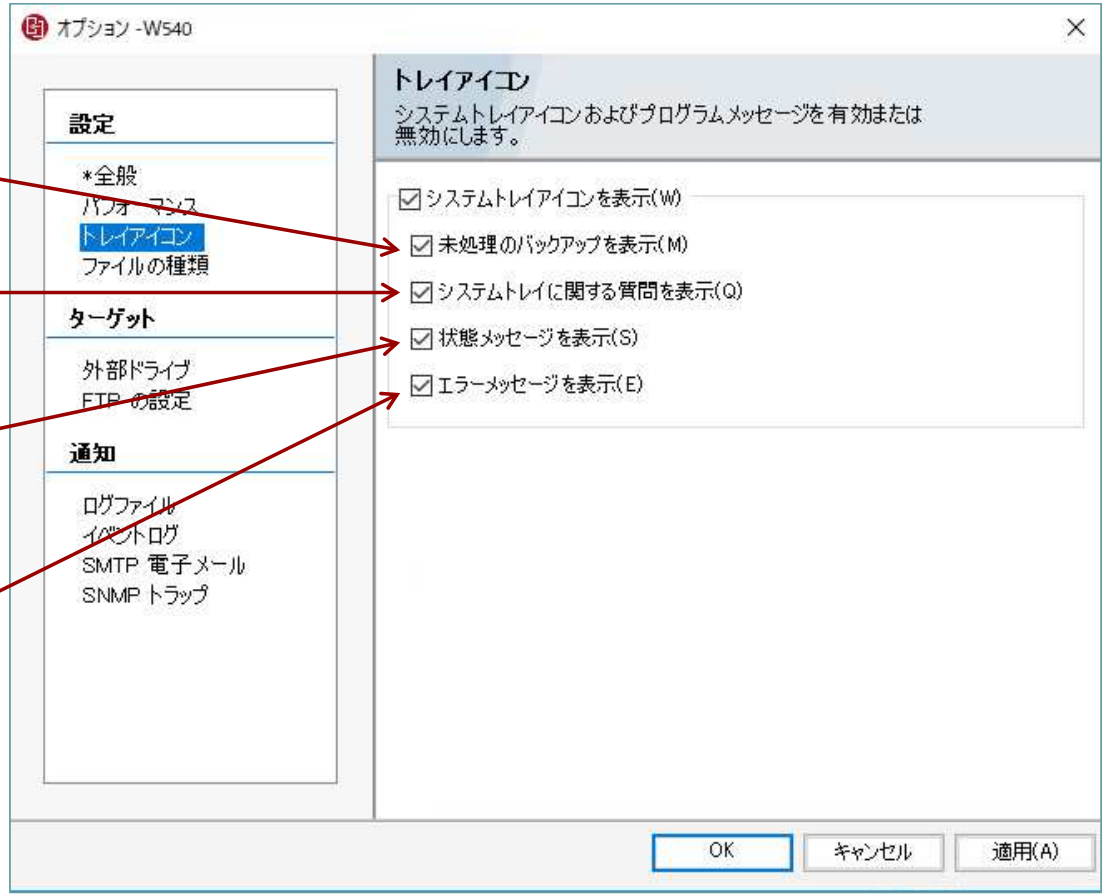


Copyright © 2019 Veritas Technologies

トレイアイコン

- スケジュールしていたバックアップが実行されなかった場合に通知します。（例:バックアップの実行をスケジュールしていた時間にコンピュータの電源が入っていなかった場合などに通知）
- バックアップに役立つメッセージを、質問形式で表示します。
- バックアップ操作の状態についてのメッセージを表示します。（例:バックアップの開始の通知や、バックアップ先の空き容量がわずかになったことの通知など）
- エラーが発生した場合にエラーメッセージを表示して、データ保護を妨げる可能性がある問題の解決を促します。

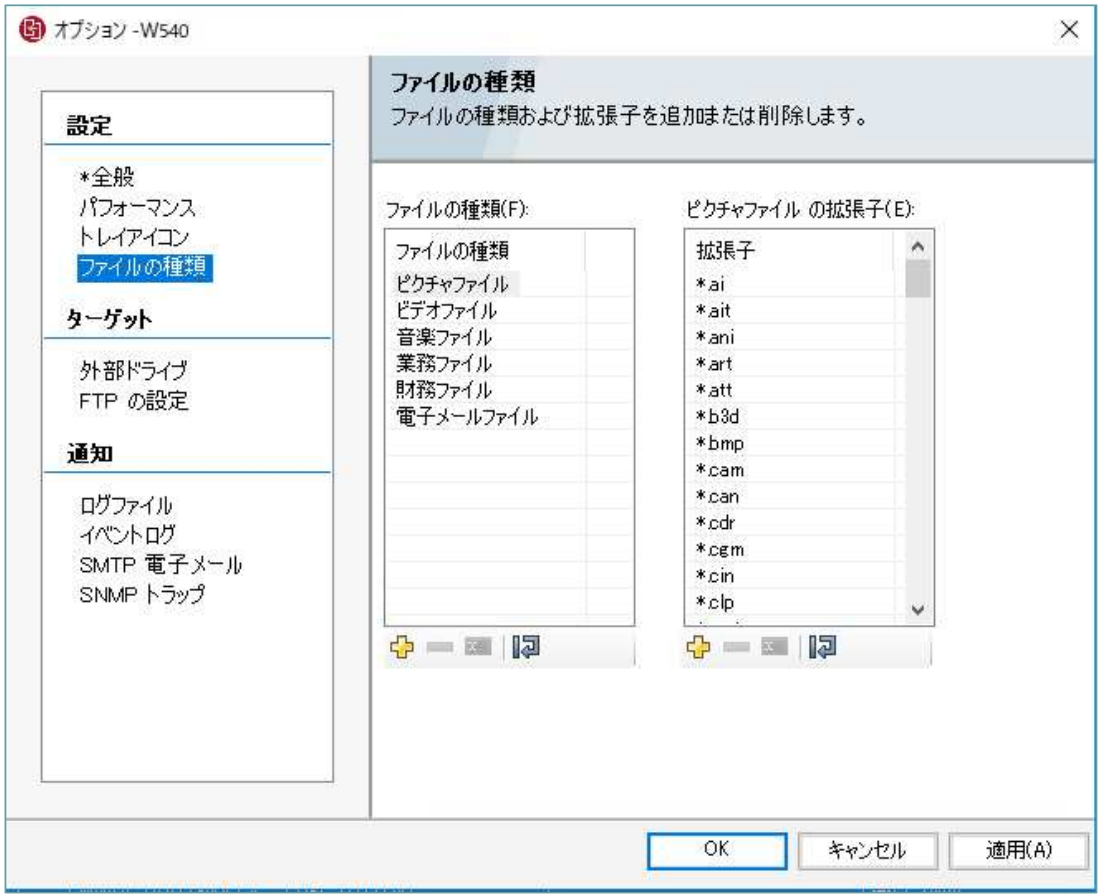
ここの設定は、デフォルトのままにしているお客様が多いので、このままで特に問題ありません。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

ファイルの種類

- ファイルの種類は、ボリュームレベルのバックアップではなく、「ファイルとフォルダのバックアップ」時に利用する設定です。通常は変更の必要はありませんので、こちらも必要があれば、マニュアルを参照してください。

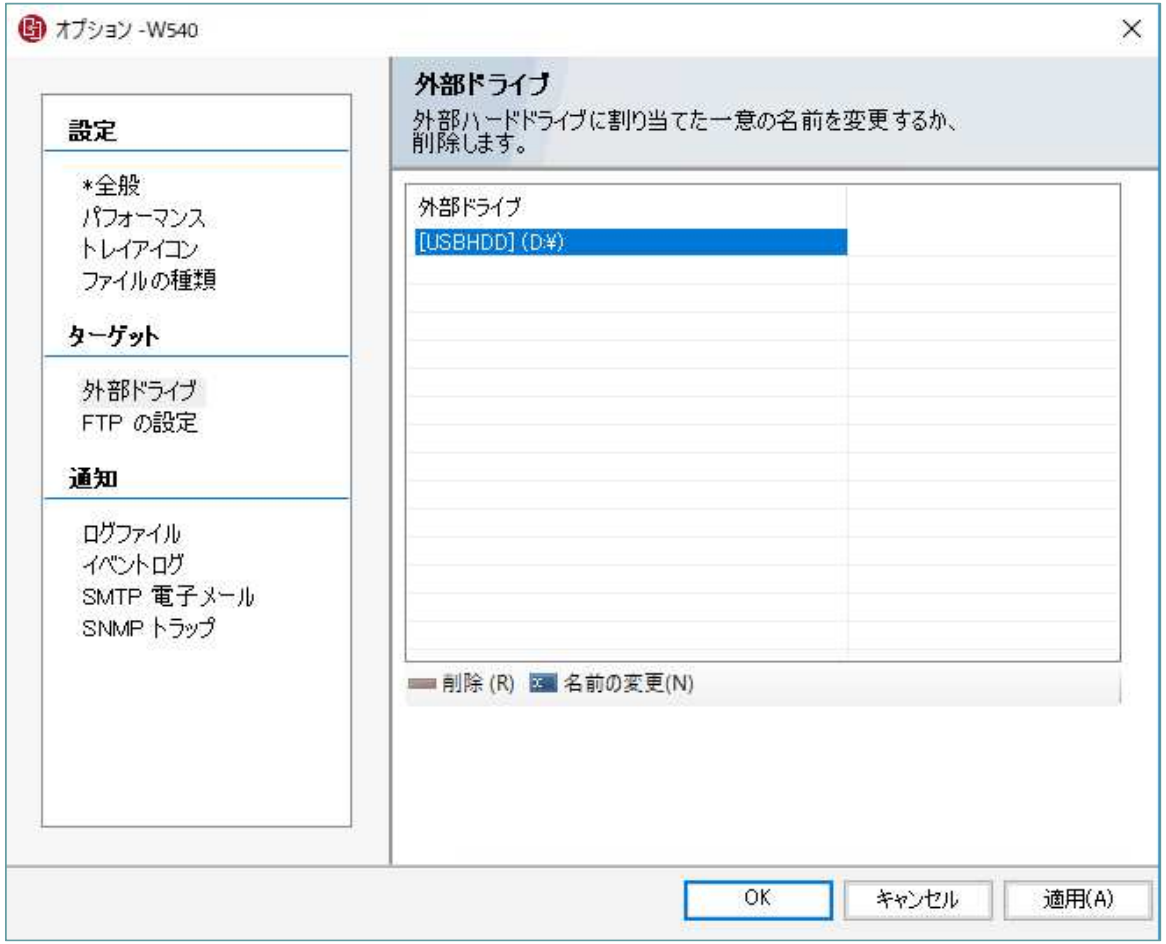


Copyright © 2019 Veritas Technologies

外部ドライブ

- 外部ドライブとは、USBハードディスクなどの外付けのディスクのことになります。ローカルディスクには使用しません。

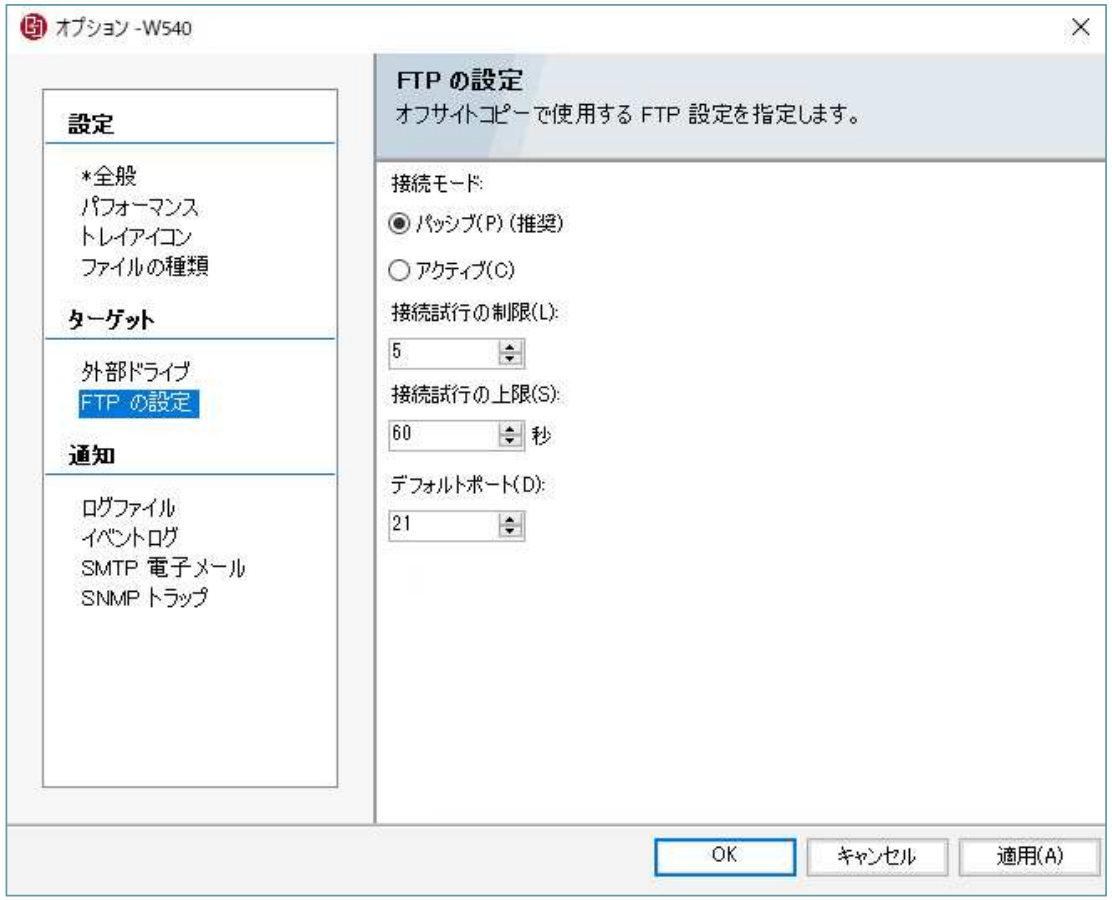
- 外部ドライブに、名前を付けて、わかりやすく管理するための設定です。ここに何も表示していない場合は、外部ドライブがないことを意味します。
（ネットワーク上のUNCパスには
利用しません）



Copyright © 2019 Veritas Technologies

FTPの設定

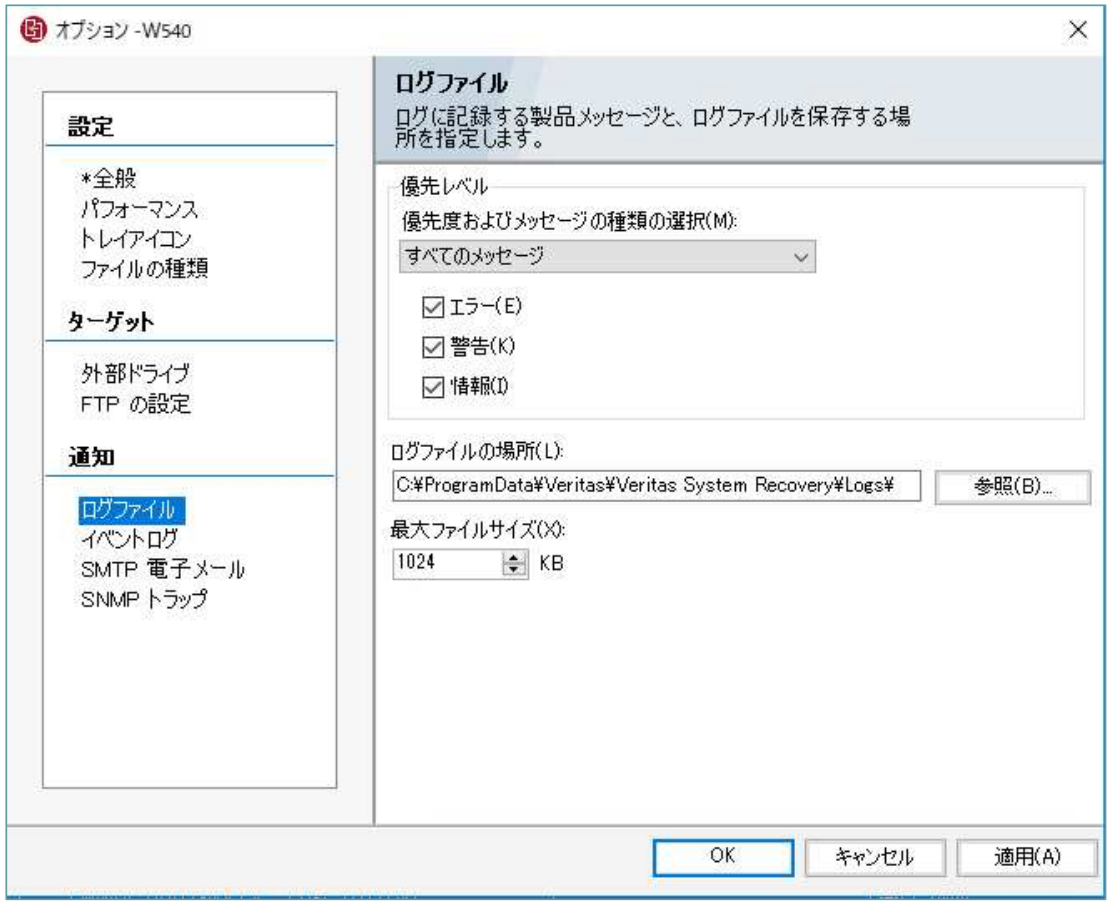
- バックアップ保存先に加えて、オフサイトコピーという保存先がVSRでは使用可能です。オフサイトコピーとは、１つのバックアップ保存先だけではなく、別の保存先にもバックアップデータ（つまり、リカバリポイント）を保存したいときに使います。
- 例えば、バックアップ保存先は、ローカルのハードディスクにして、オフサイトコピーをネットワーク上のNASなどを指定することもできます。
- そのオフサイトコピーには、FTPサーバを選択することができますので、FTPサーバ側のモードに合わせた設定をこの画面で指定します。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

ログファイル

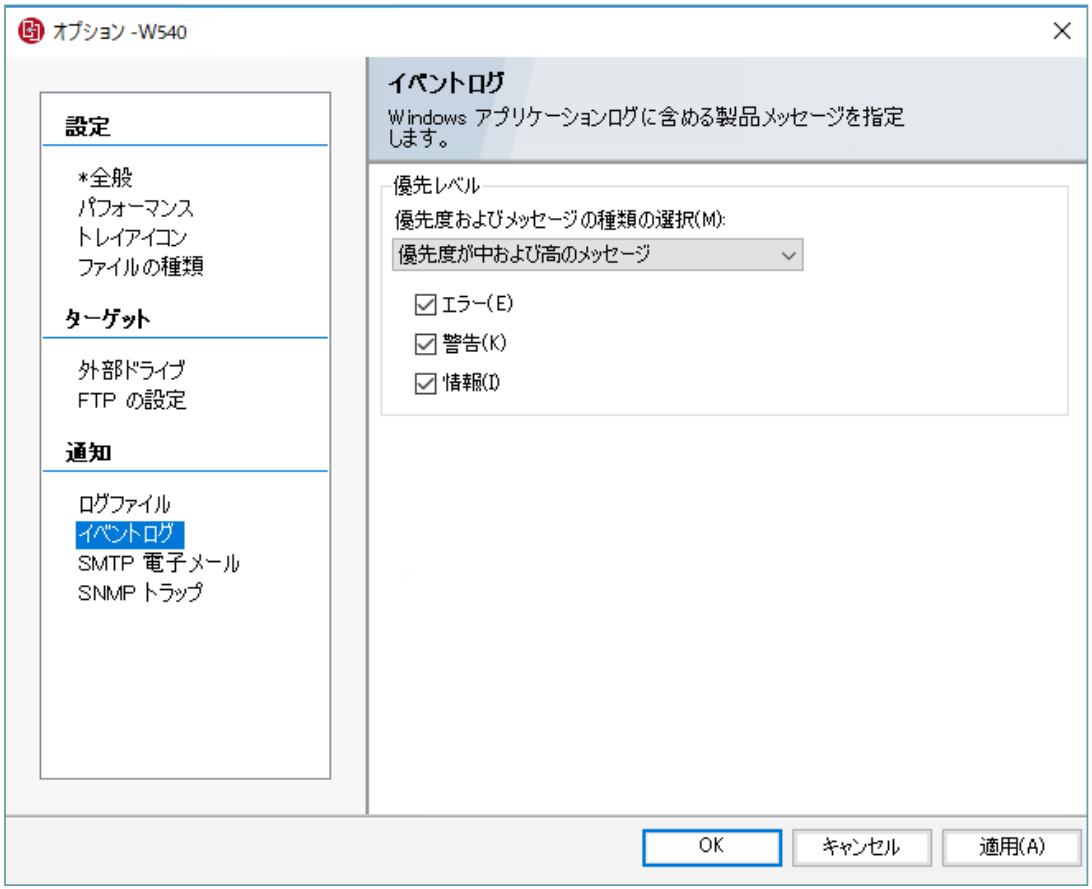
- ログファイルの保存先を変更できます。ログファイルは、デフォルトでは、C:¥ProgramData¥Veritas¥Veritas System Recovery¥Logs のフォルダです。
- また、出力するメッセージには、優先度があり、情報、警告、エラーの3種類があります。基本的に、これらの3種類すべてにチェックされていることが、望ましいです。
- 情報レベルは、サービスの開始、停止、メール通知のテストなどです。
- 警告レベルは、バックアップジョブが開始できなかった場合などが該当します。
- エラーレベルは、バックアップジョブが途中で失敗するなどが該当します。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

イベントログ

- イベントログにどのメッセージを記録するかを指定できます。大まかには、以下のようなすみ分けになります。
- 優先度低：通知テスト
- 優先度中：サービスの停止、開始、バックアップが開始できなかった場合のエラー。
- 優先度高：バックアップ開始、完了、リカバリポイントファイルの削除、バックアップ実行中のエラーなど、直接バックアップジョブに関係するような場合。



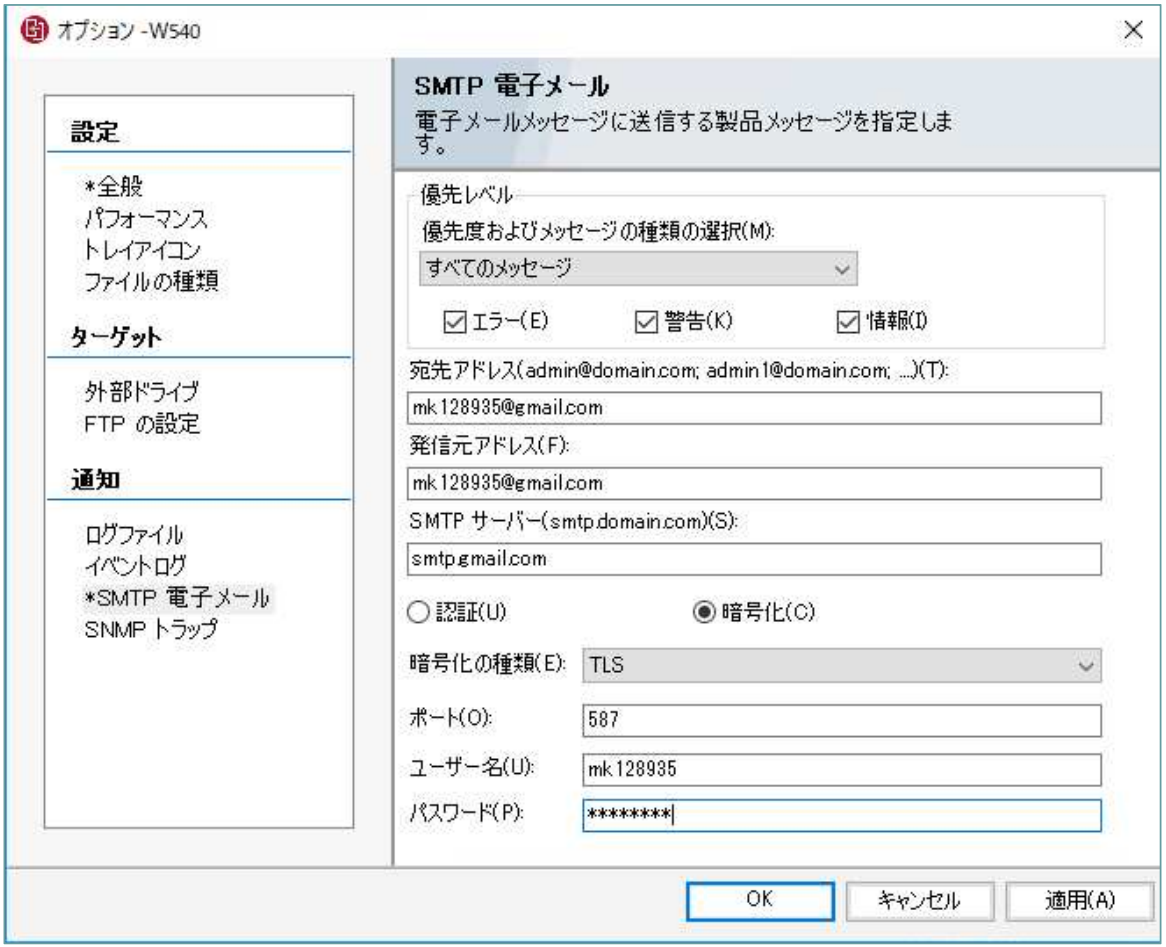
Copyright © 2019 Veritas Technologies

SMTP電子メール

- SMTP電子メール通知を送信できます。優先レベルと優先度は、前ページで説明しましたものになります。

- 優先度、優先レベルごとに、通知するかどうかを設定できます。

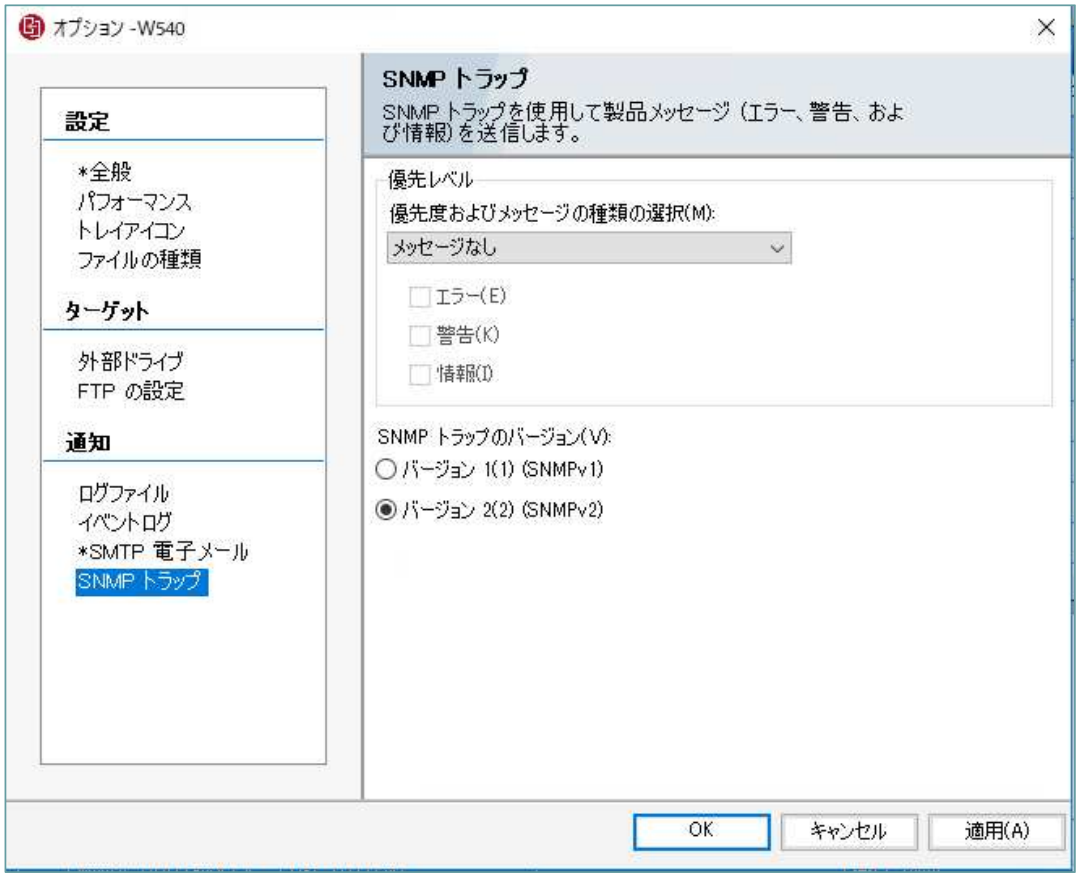
詳しい設定方法はマニュアルを参照してください。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

SNMP トラップ

- デフォルトで、SNMPトラップは送信されません。また、トラップを定義するMIBファイルなどは用意されていません。
- SNMP受信側で、VSRにより送信されたSNMPトラップ自体を確認していただくのみの機能です。



Copyright © 2019 Veritas Technologies

ありがとうございました

Copyright © 2019 Veritas Technologies. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

VERITAS™